

令和6年度

思考を変えて住民の本当の
ニーズを探る!

デザイン思考を活用した新たな行政課題の解決方法

～住民とつくる本気の政策提案～

ユーザー視点に立ってサービスや商品の本質的な課題・ニーズを発見し課題を解決するための思考法として、主に大学や企業で導入されている「デザイン思考(※)」の基礎をはじめ、「リビングラボ」など地域での実践事例を参考に、活用メリットや、具体的な導入プロセスなどを学び、デザイン思考を活用した行政課題の解決に向けた企画・実施について考えます。

※デザイン思考とは?

デザイナーがデザインをおこなう際に用いられるプロセスを体系化したもので、ユーザーの視点で課題の解決策を探る思考法です。デザイン思考を実践する際には、1観察・共感、2定義、3概念化、4試作、5テストの5つのプロセスを踏んでいきます。作り手ではなく使い手の視点で、試行錯誤を繰り返しながら、課題の本質を見つけていく点が大きな特徴であり、前例のない課題に直面したり、商品やサービスの改善策に行き詰まったりした際に役立つ考え方と言われています。

開催要領

日 程

令和6年10月9日(水)～10月11日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

企画課、住民協働、産業振興、環境政策、健康福祉等、
デザイン思考を業務に取り入れたいと考えている市町村等の職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

11,750円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和6年8月23日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和6年

10月

9日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 社会と行政を変えるデザインの可能性

一般社団法人STUDIO POLICY DESIGN 代表理事 **橋本 直樹 氏**

デザイン思考の基本的な考え方と、政策立案の現場におけるデザインの考え方、実践方法を解説いただきます。

15:45~17:25

講義 自治体にとってのデザイン思考~実践の意義、DXとのかかわり~

(一社)行政情報システム研究所主席研究員/立命館アジア太平洋大学准教授/事業
構想大学院大学客員教授/有限会社 D's Link 取締役CEO **狩野 英司 氏**

現在、あらゆる行政分野で進められているDXにおいて、デザイン思考がどのような意義を持ち、どのように活用できるのかを解説いただきます。

17:45 ~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~14:10

演習 地域を変える政策デザイン~デザイン思考の実践に向けて~

株式会社コンセント サービスデザイナー/HCD-Net認定 人間中心設計専門家

小山田 那由他 氏

株式会社コンセント サービスデザイナー **成瀬 有莉 氏**

デザイン思考の思考プロセスについて、実践的な視点からお話しいただきます。受講者の方には、課題解決のためのツールとしてのデザイン思考について、ワークを通して体感していただきます。

14:25~18:00

事例紹介 行政におけるデザイン思考/リビングラボの実践

ファシリテーター:地域創生Co デザイン研究所 ポリフォニックパートナー/東京理科大学

客員准教授/(一社)日本リビングラボネットワーク 代表理事 **木村 篤信 氏**

紹介1:住民参加型による鎌倉リビングラボの実践

東京大学高齢社会総合研究機構 学術支援専門職員 **吉田 涼子 氏**

紹介2:横須賀市 デジタル・ガバメント推進室の挑戦

横須賀市経営企画部 デジタル・ガバメント推進室 **山中 靖 氏**

紹介3:周南市における住民起点のスマートシティ推進の取組

山口県周南市企画部スマートシティ推進課 課長 **中村 充孝 氏**

現場でのデザイン思考/リビングラボの事例を交えて、その難しさや工夫について対話形式で学びを得ます。

9:25~12:00

**講義・演習 行政課題解決の仕組みとしての
リビングラボとその実践**

地域創生Coデザイン研究所 ポリフォニックパートナー/東京理科大学 客員准教授/

(一社)日本リビングラボネットワーク 代表理事

木村 篤信 氏

ラボラトリオ株式会社 マネージャー/(一社)日本リビングラボネットワーク 理事

長島 洋介 氏

行政が単独で行政課題を解決することが難しい時代において、市民や企業との共創は必然であり、セクターを超えた共創の方法論であるリビングラボが注目されています。行政が主体となるデザイン思考に加えて、市民や企業と共創するアプローチも踏まえながら、どのような課題解決の実践が自分たちの地域に必要なのか、受講者同士の対話を通じて深めていきます。

13:00~14:10

ふりかえり デザイン思考とリビングラボの実践に向けて

ファシリテーター:株式会社コンセント サービスデザイナー/HCD-Net認定 人間中心設計専門家

小山田 那由他 氏

地域創生Coデザイン研究所 ポリフォニックパートナー/東京理科大学 客員准教授/

(一社)日本リビングラボネットワーク 代表理事

木村 篤信 氏

本研修での学びをどのように実践につなげると良いのか、ご指導をいただきます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和6年

10月

10日(木)

9:25~12:00

**講義・演習 行政課題解決の仕組みとしての
リビングラボとその実践**

地域創生Coデザイン研究所 ポリフォニックパートナー/東京理科大学 客員准教授/

(一社)日本リビングラボネットワーク 代表理事

木村 篤信 氏

ラボラトリオ株式会社 マネージャー/(一社)日本リビングラボネットワーク 理事

長島 洋介 氏

行政が単独で行政課題を解決することが難しい時代において、市民や企業との共創は必然であり、セクターを超えた共創の方法論であるリビングラボが注目されています。行政が主体となるデザイン思考に加えて、市民や企業と共創するアプローチも踏まえながら、どのような課題解決の実践が自分たちの地域に必要なのか、受講者同士の対話を通じて深めていきます。

13:00~14:10

ふりかえり デザイン思考とリビングラボの実践に向けて

ファシリテーター:株式会社コンセント サービスデザイナー/HCD-Net認定 人間中心設計専門家

小山田 那由他 氏

地域創生Coデザイン研究所 ポリフォニックパートナー/東京理科大学 客員准教授/

(一社)日本リビングラボネットワーク 代表理事

木村 篤信 氏

本研修での学びをどのように実践につなげると良いのか、ご指導をいただきます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講